

成年向



Internet Denchi

www.internetnetdenchi.com



我係日本人®



はじめに、もくじにかえて、

まいごありがとうございます。今回は逆転裁判
のまんがを、中心に1つもの二人でやっておきます。

中身は、師走まんが(未)と濱四コマ、

それと二人の馬犬文がのっります。

はなはだ手荒れ本ですが、少しでもおたのしみ

いただ
けねは
幸いです。

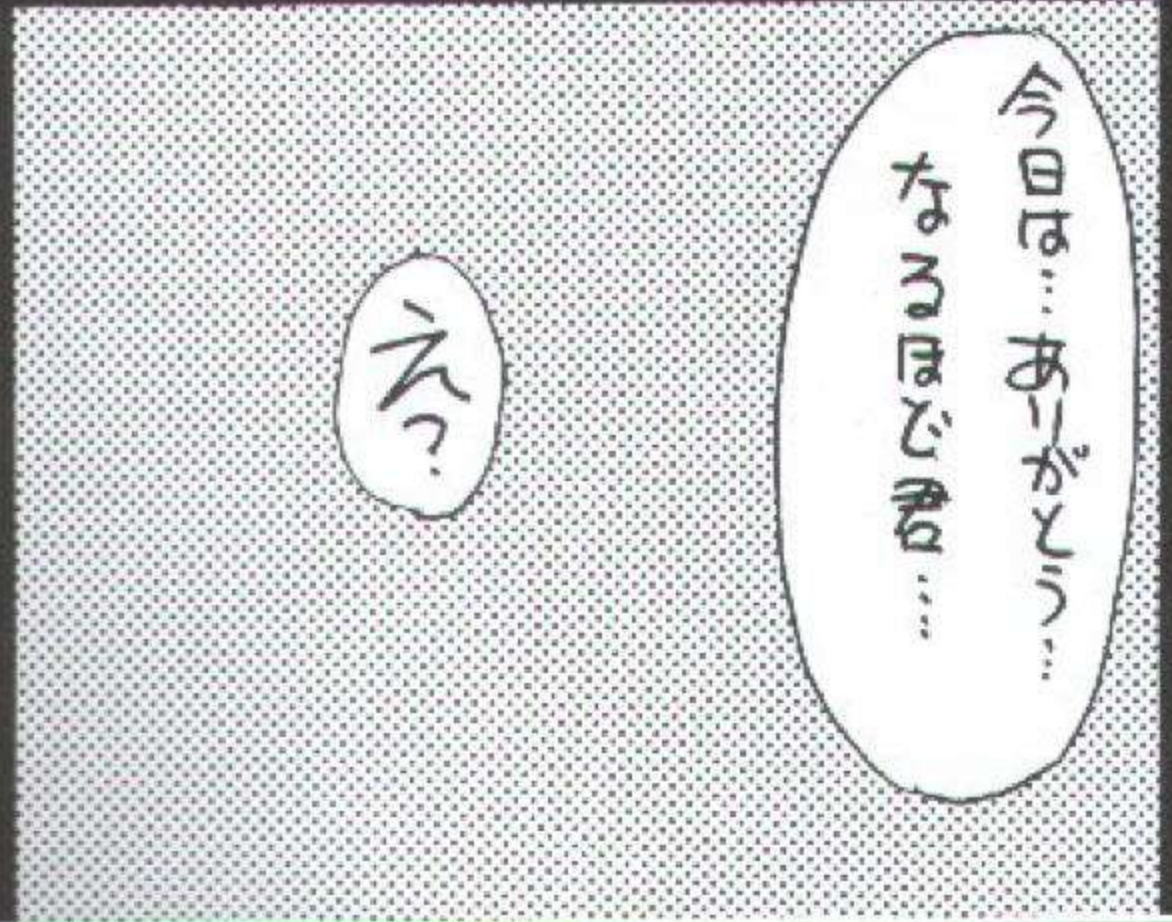


では
馬犬で。

9月9日 某時刻

綾里法律事務所







い...いえ自分のためでも
おーおーう...う...



アハハハハハ
アハハハハハ
アハハハハハ
アハハハハハ
アハハハハハ



い...い...い...い...
す...す...す...す...
ム...ム...ム...ム...

あ...あ...あ...
い...い...い...

アハハハハハ



おれはオノオノ
アツアツだよ



おれ...おれはオノオノ;

オノオノオノオノオノオノ...

アツアツアツアツアツアツ;



??

アツアツ



おな
おな
おな



立派な弁護士に
なると...

「IT」を「IT」
「IT」を「IT」

「IT」...「IT」...
ですか...?!

「IT」...「IT」...
「IT」...「IT」...

「IT」...「IT」...



いいえ。
かわらないです。

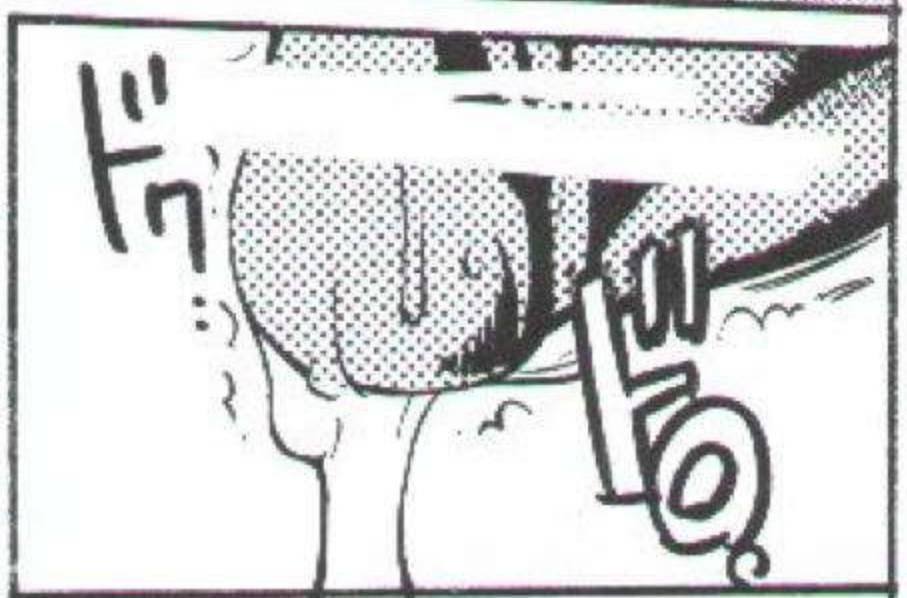


乙女に
恥をかかせよ
駄目よ。

あーあ
ぐわんぐわん
あ
あ
あ









かたはら

..ホゲジツなちゃん...

かたはら
おはよう

..ホゲ
..ホゲ

..ホゲ..ホゲ..
..ホゲ..ホゲ..
..ホゲ..ホゲ..

..ホゲ..
..ホゲ..

..ホゲ..
..ホゲ..

..ホゲ..





♪♪

あのね、なるほどね。
これはね、ムシの
「お母さん」



18.

「お母さん」
「お母さん」
「お母さん」

「お母さん」
「お母さん」





Handwritten text on the right edge of the page, partially visible, including the characters 'E' and 'P'.



20.



逆転裁判よもやま、あれこれ。

(漫画いい訳含む)

〇どうも、師走の翁れす。イヤーンな漫画でごめんね。漫画のなりたちみたいな展開になってしまいました。いつとながら、中途半端なまんがです。

前回までの本は、ネマに囚りはてて、さすらいながらネマ出しをしていたのですが、

今回は数年ぶりに「同人誌出した!!!」と思う素材に出会えました。それが逆転なんですか。出会った時期が遅すぎました。

師走の翁の漫画家人生数年のうちで最も忙しい半年でした。

もちろんこの2002夏発売のシャイニングレインの単行本のせいでござりました。

ゲーム自体はサッと終わるので、作業による時間が本当はない。マシマシ。

でもせーい、ぱーかんばつたよ。今回はできるだけ、あ、お年頃にみなさんの手に渡るようにしますので、

今後とよろしく
お願ひします。

■ 下の絵。なごけな翁れすの翁れすに対するニウギの絵ではなく、表紙のボリッラフ。



・できれば下描きのとこ以降と続編を冬にしたいのです。まあ、いつか言ってることだと思われちゃいますが、なんか今回は違う感じが、自分でもいえます。

さ、きも言いましたが、ここ何作か描いてる時は頑張ってますが、半年も熱が続く作品には出会えませんでした。

「エイケン」の続きを待ってる方にはすみませんですが、やっぱり今の原作にはオウラの求める「熱」がないです。

同人誌は師走の趣味の分野なので、やっぱりシンと作品は描けないです。

でも逆裁なら心配無用!!

今現在の熱もくらべるべくもないです。何より「2」が秋に



・まてますもの!! これですらに逆裁や子人が増えればいいな。

さて、この千尋さんば、かたくなってしまいました。マヨイちゃんも、生身千尋も全然できてきませんね。でも次回ほ色々エロエロしたいです。もう全員。

なんかむしろ「同人誌」で感いで楽、スーです。

やはり作品にマジほれて作る本は良い!! 互のて次回ほも、て頑張る2のキャラもバシバシほめ倒します。

頑張れ!! なるほどくん!!

4ンコもとんがりしょうだぞ!!

なるほどくん!!

☆ お取っかい完成度のまんがにふたので、ついでにもう一つ取っかいをせよして
みようと思います。今回のマンガ用に書いた字コンテです。
描くマンガによるアプロ-4の仕方は通うんですが、今回は
パイで字コンテを書いて、それを見ながらネームを書きました。
しかし、自家用に書いたものなので文章ムチャクチャです。ふだんは
ふんぴつで走り書きするんですが、パイでエロエロ小説ち、くはう、みまは

「今日はありがとう、、、なるほど君。あなたのおかげでコナカを罪に問うこともできたし、
マヨイも無事、無罪になったわ。すべてなるほど君のおかげだわ。」
千尋はなるほど君に近づいて胸にのの字を描く。どきどきするなるほど。
「い、いえ、ぜんぜん。ほ、僕のためでもありましたから、、、」
なるほど目線で千尋マヨイの谷間が飛び込んでくる。
ああ、いつもよりさらにすごいなあ。千尋さんのおっぱい、、、、！まずいぞ！
このところ裁判でごたごたしてて、、、たまりまくってる、、、
「まあ！なるほど君大変！」
「わあああ、す、すいません。所長！」
ジーと音がしてチャックが下ろされる。ムギュッと音がしてズボンの間からパンツごと勃起したちんぽ
を握られる。
「ち、千尋さん！あ、、なにを。」なるほど君大慌て。
「今日きてもらったのはね、なるほど君、、、今日までの御礼とお、、、
しこしこパンツごとしこる千尋さん。なるほど君鼻息も荒く我慢する。
「これからマヨイのことよろしくってお願いとお、、、
パンツの合わせ目にぐりっと指を入れ、亀頭を剥き出しにする。
「立派な弁護士になったごほ一びをあげるために呼んだのよ。」
根元まで剥き出しになったちんぽを両手でえろくさす千尋。
「ご、ごほ一びですか！でも、、そんな！まずいですよ！千尋さん！」
腰をおろして、千尋仕事机に腰をもたれかかっている、なるほどのちんぽに正対する。
「まあ！乙女に恥をかかせては駄目よ！なるほどくん」
潤った厚い唇でやさしく息を亀頭に吹きかける。
「ああ、ちひろさっ！、、！
なるほど君のちんぽその刺激に耐え切れず、脈動する。
千尋さんしょうがないわねえと言う顔をして、舌を出し、口を大きくあけて、淫乱な表情で精液を口で
受け止める。
ばびゅっ！ばびゅっ！とすごい勢いで千尋の舌の上や口の中を直撃する精液。
なるほど君あえぐ、「あ、、あ、、ああああ、ああ！」
上を向いて口の中から精液がこぼれないようにしてる口の上から、残り汁までたっぷり注ぎこむ。
うっとりとした顔で「あ(はあと)」と口の中にこぼれんばかりに精液をためたあと、ゆっくりと飲み干す
千尋。
「ん、、、ん、、、んはあ、、やだ、、舌がしびれちゃう、、、すごい濃い味。
いっぱいためてたのね、なるほど君」
「はあ！はあ！はあ！は、、い、、ここんとこ、、まったくそ、、そういう機会が、、なくて、、」
少しだけ頭の位置を下げたなるほどちんぽを唇の先で遊びながら、ズボンを下げていく千尋。
「あ、あの、、、、こんな、、まずいですよ。まよいちちゃんにも、、」
「ふふ、あのね、なるほど君。これはね、マヨイのためでもあるの」

「ふふ、でもすごい。タマタマまだまだ、パンパンに張ってるじゃない。精子で重そうよ。」
タマタマに吸い付く千尋。とたんに真上に向けて勢いを取り戻すなるほどちんぽ。
インサートで綾里家の霊力はね、簡単に言っちゃっていっぱいセックスするとあがるの
よ。
ロングのカットでなるほどのまたの下までもぐりこんで暗闇の中、フェラリまくる千尋。
「はあ、！ま、、マジですか。普通処女じゃなきや霊力が落ちるとか言いませ
ん？」
短いショットをいっぱい入れる。
玉を口の中に収めて、おいしそうにほうばる千尋。
ケツの穴のほうまでなめ上げ、なるほど君を机に手をつけて後ろからアナル攻めをする千尋。
ディーブスロートで根元まで飲み込む千尋。
がんがん頭を押えて口の中を使わせる千尋。
インサート終わりとともに千尋の顔に大量顔射。精液が載ったまま荒く息をつく二人。
目をつぶり顔射の感触にうっとりしてる千尋を上から見下ろすなるほど君。
乱れたすそから見える黒い茂みに息を呑む。

指で顔にのった精液を集め、口に運び目を開ける千尋。なるほど君の勢いを失わないちんぽを見てほほを赤らめる。「あああ、、、」とため息を漏らして、なるほど君と目が合う。

デスクの上で大また開きで抑えられたちひろ。

顔を股間のまん前までやりしっかりと所長のおまんこを観察するなるほど君。

「うわ、、所長のおまんこ、、、こんな形でこんな色でこんなにおいだったんですね。」

「やだ、、、なるほど君、、み、、、見るだけでは駄目よ。あなたの、、、それ、、、で早く、、」

なるほど君、ちんぽは痛いほどキンキンで鼻息も荒いがあえて、じらしにいく。

ちんぽをおまんこにまぶしながら

「それ、、、とは何ですか？正確に言ってください。所長。」

「もう、、、バカ！、、、新人の癖に、、そんなテクニック使って、、、」

つゆをまぶされてぬっとりとしたちんぽがおまんこをこすり上げて、土手越しに千尋に続きを促す。

「あなたの、、、なるほどくんの、、、ちんちんを、、、いれて、、、」

ぼたぼた汗を流しながら、なおもじらすなるほど君。

「どこに？ですか、、、千尋さんの口から、、、はっきりと行ってください。」

「あああ、もう、、、あたし、、、私の、、、あそこ、、おまんこに、、なるほど君のチン、、ぽ、

挿れて、まんこのなか、、、ぐちゃぐちゃにして、、、はやく、、中になるほど君のザーメンを

いっぱい、さっきみたいな濃くて、どろどろしたザーメンいっぱい流し込んで、、おなかいっぱいにして。」

なるほど君興奮でプツン

なるほど君興奮でプツン

「ち、ちひろさん！！！！おお！！」

がちがち鈍っとくなったちんぽを一気に根元までぶち込む。どずん！とぶちこむ。

一気にアクメる千尋さん。

「な、、るほどくんの、、、ちんぽ、、きた、、の、、、あああぐ、、、ひいいい、、ぐく、、」

びくびくする千尋。アクメるたびにまんこに刺激が伝わる。

イッてる千尋の両腕をつかんだなるほど君は、アクメ中の千尋にかまわず

汁の噴出すマンコの中にちんぽを激しくつきまわし、掻き回し、腰を暴れまわす。

腕の間でたぶたぶゆれまくるおっぱいにかぶりつき派手な音を立てて、しゃぶりつく。

感極まった二人は激しくペロチューしながらよだれたらしまくりながら、口をしゃぶりあいながらきつく

抱きしめて

抱きしめて

絶頂に行く。

「中に！、して！、中にして！中になるほど君のザーメン、中に出さなきゃ駄目よ。

派手に射精をして、かなり余韻を楽しみ、たっぷりと掻き回す。

次は、、、窓際でしてえ。

☆手紙 全部だすのも、何なのでこ=までという事です。

ちひろ、とこういうひどくマナーベーション的な手の内をさらすのが楽しそう

な気がしたのでやってみました。こういうブツを見たみなさんは

どんな感じがする人ですか。エロくて思う人が11人51111なるあ...

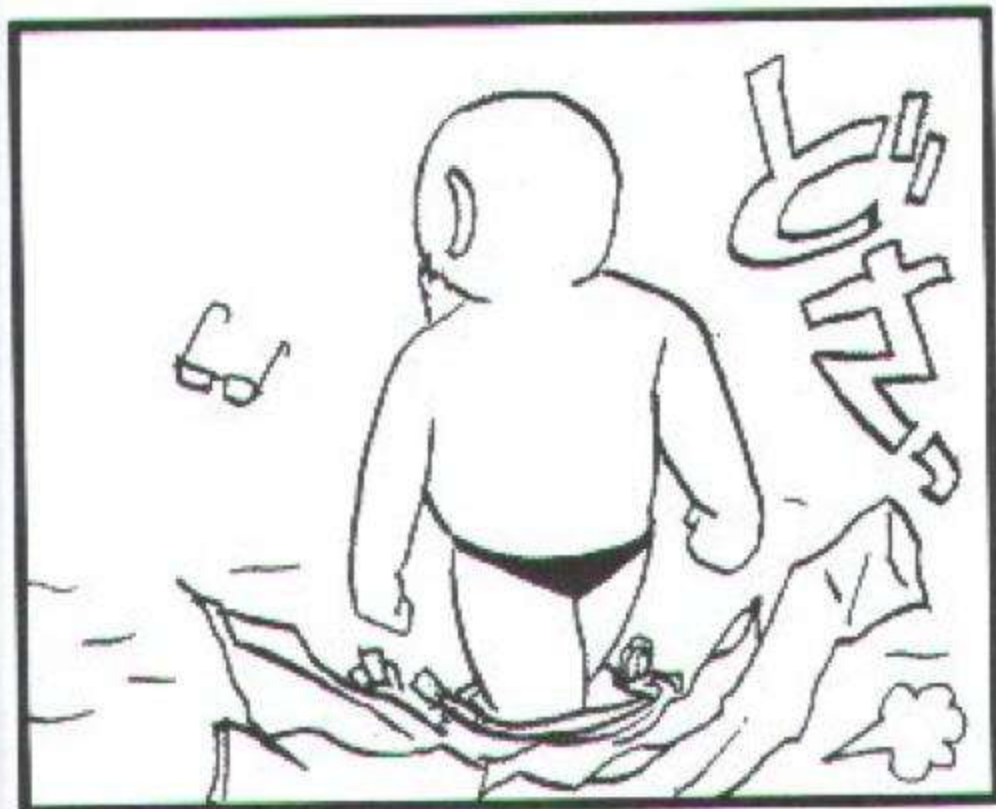
引く人がいても面白くなるあ——。

思うと=あつた人はX-11下さ11。

Siwasu@internetdenc

.com

^.

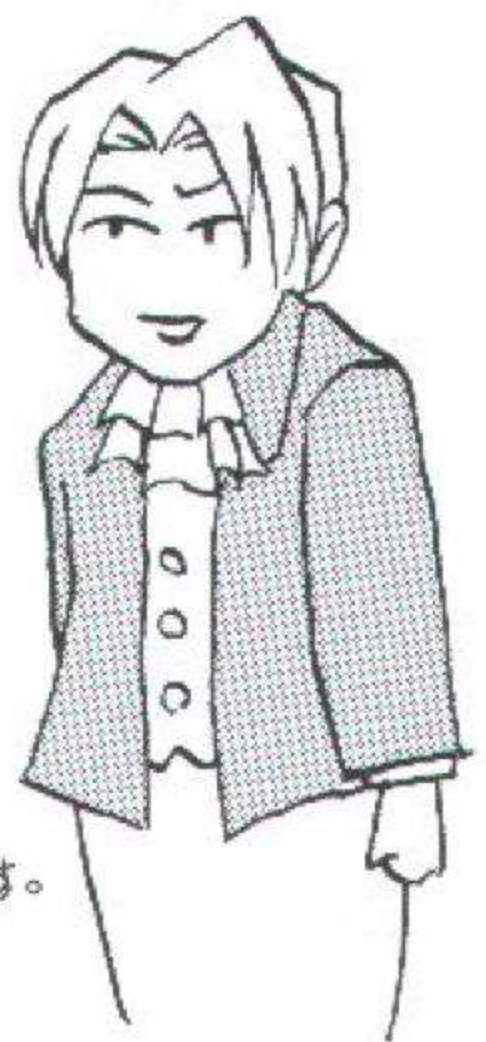


俺は
裁判長

GOLDEN

裁判

私は
御剣です



濱まぢあ

注:この漫画は榎本俊二
"ゴールデンラッキー"のパクリです。

被告の夏休み



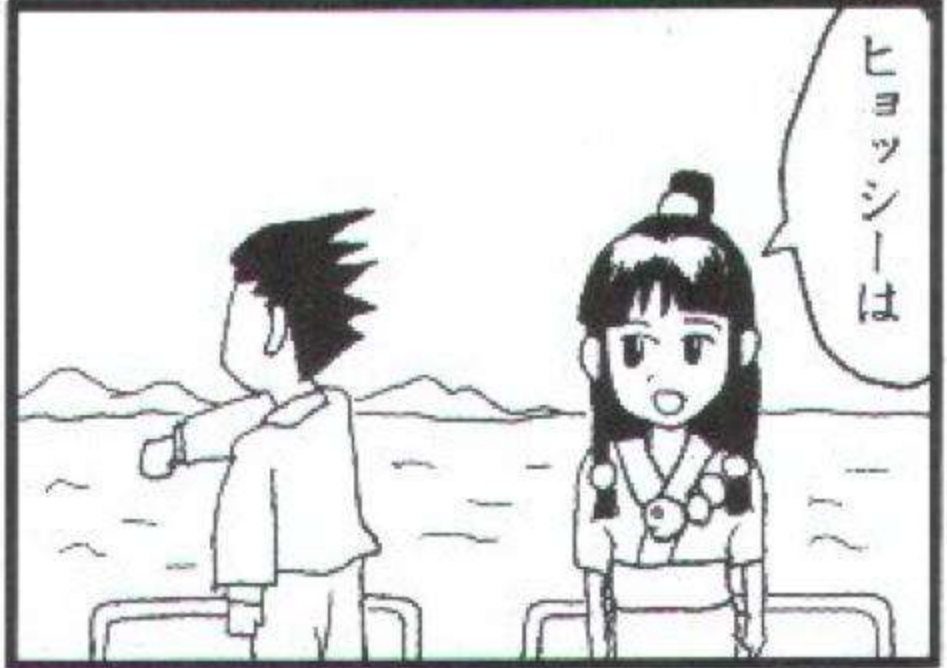
千ヒロ



涙のスチャラカ



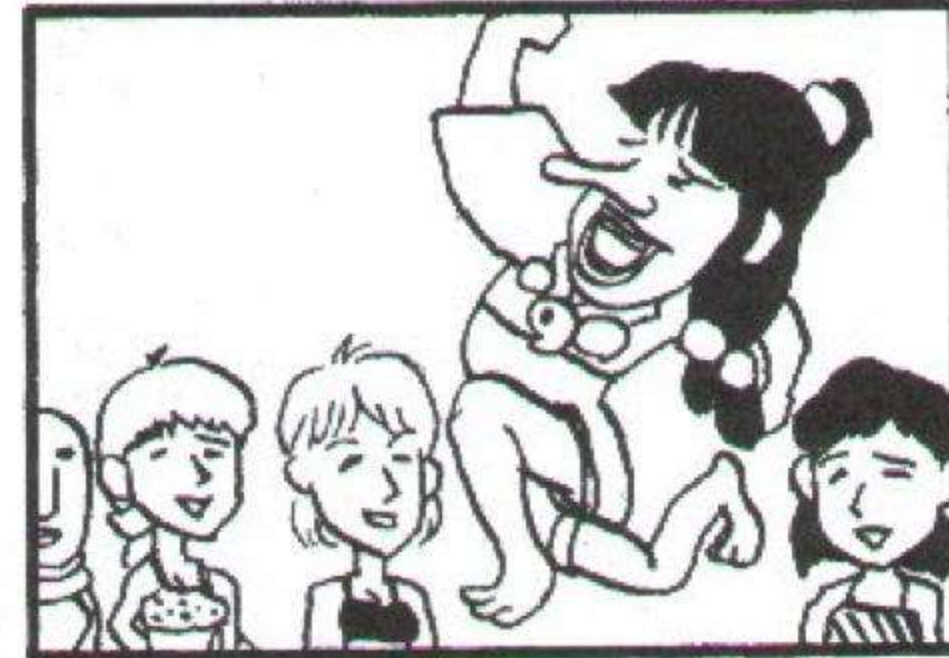
しなやかなドリフト



僕の終わり



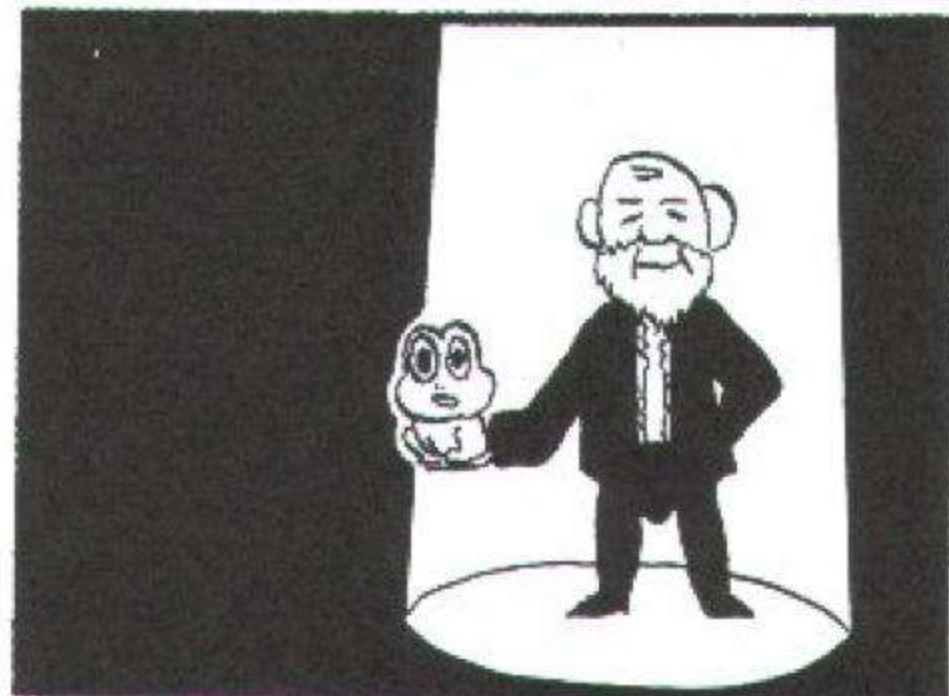
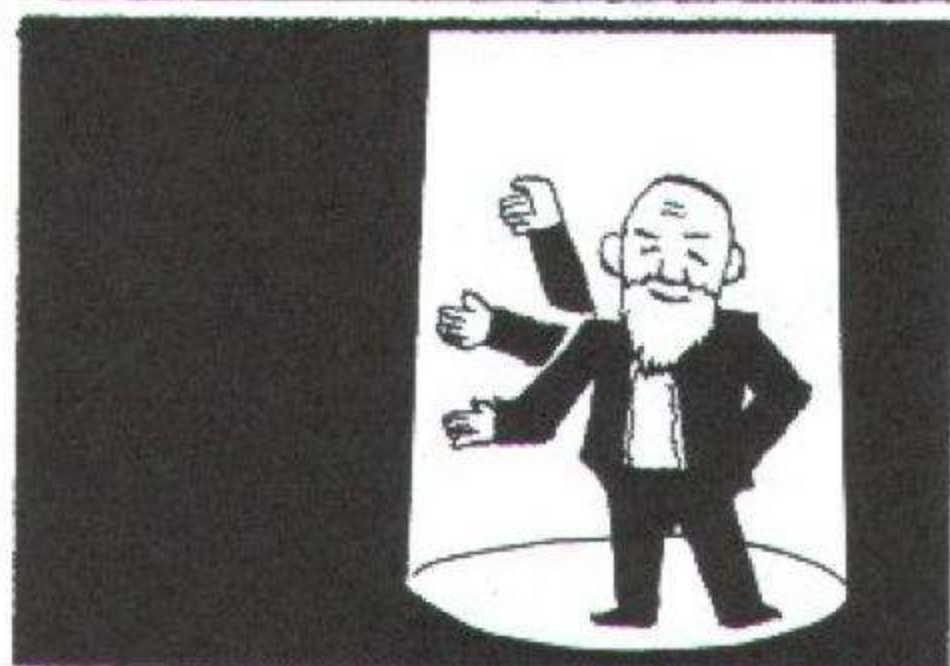
マヨイ



愛のすってんころりん



たっぴりグルーヴィー



濱まちあのごだごだトーク

text by 濱まちあ

●どうもこんにちは、濱まちあです。初めましてor毎度どうも。今回のコミケはなかなかどうして猛烈な所に配置されてしまい、小心者の我係日本人はびびりまくっております。ちなみに、これを書いているのは締め切りの5時間前です。相変わらずですな。つーか、フリートークといっても、ちょっと昔のように、近況報告みたいなのがペーパーとか同人誌のあとがき位でしか読者の皆様に「最近こんなんよ、どうよ？」っていう機会が無かったりしたのですが、きょうび同人なんかで近況報告するな、ポケが。お前はただページの穴埋めがしたいだけちゃうんかと。ってな感じで、正味「Webサイトでやれや」ル」という感じも大変するのですが、まあその辺りは大目に見てください。

●今回の本は逆転裁判です。見りゃ分かりますね。失礼しますた。ゲームってのはやっぱり処理速度がどうのとか画像がなんだとかっていう話じゃないですね。Xboxは猛省するように。何となくこの本を買ってしまったGBA持っていない人、1万とちょっとで遊べるので是非買って下さい。

●時間が足りなかったり、漫画にするとあんまり面白くないなあとか、これは既出だろうというような没ネタのお話。Webには載せないよ。ヒヒヒ。

1. 霊媒でやってきた千尋外がなるほど君のうまい棒をねだりまくって前から後ろから大変なことになったあげく、イッてしまったショックで千尋外が帰ってしまい、正気にもどったマヨイに未成年&レイプの疑いで告訴されるオチ。もしくは「叫…ハァァ」と、2ラウンド突入。エロネタとしては良いと思うのですが、僕が描いても全然エロくならないので却下。誰か描いてください。つーか、たぶんどこかにあると思いますが。
2. 御剣vs人権弁護士。
これはねえ、是非やりたい。漫画で描くよりもむしろ、続編もしくは外伝でカプコンからゲームで出して欲しいです。やおい系の皆様も、御剣検事が主人公のゲームやりたくないですか?! 人権弁護士が怖くて同人屋が務まるかー! 小淵は眉毛を剃って、出直してこーい! 最近の犯罪傾向を見てると、加害者の人権の方ばかりでおかしいと個人的に思っておりますので、その辺を是非! 御剣検事に暴いて戴きたいと思う所存でございます。
3. マヨイ外が宇在に犯される話。トノサマンに釣られて人気の居ないスタジオで…これも誰か描いてると思うので没。
4. 一発ネタ集。
 - ・唐沢商会の「怪物新書」の裁判ネタで、「陰茎は何cmくらいまで挿入したのですか? 根本まで入れたのですか?」と大まじめに尋問するネタ。
 - ・こまわり君の「死刑!」
 - ・トーマス兄弟が、ハニホーヘニハー(不法滞在)の一人二役で実写化。
 - ・事件発生を知らせる新聞の輪転機。
 - ・「やっぱり矢張」というオチ。
 - ・梅世とセクスしてて、梅世がいくときに怖い顔になって相手がインポ。

濱まちあのごだごだトーク しよのに

text by 濱まちあ

●あ、そういえばですね、僕、狩魔業検事結構好きなんですよ。声も渋いし。ゴッキーから狩魔向きのネタが見つからなかったのを見送ったんだけど、最終話のエピソードも結構使いたかったりします。ていうか、2では狩魔の娘登場ですね。イラストしかまだ見てませんが、つり目少女割と萌え属性の私としては、非常に期待しております。狩魔譲りの厳しい法廷テクニクでなるほど君をいじめまくって欲しい所存ですね。あと、あたらしいロリキャラとか。うむー。久々にゲームに期待してしまっている今日このごろです。どーせならPS2で、フルボイスでやってみたいとか思うんですが、どうですかねえ。GBAならではの手軽さってのもあるし…。ちょっと話は戻りますが、今回のネタに使った、ゴールデンラッキーの復刻版は凄すぎます。途中までしか読んだことが無かったのの後半は復刻で初めて読んだのですが、よりシュール度が強まっていて、ほとんどネタとしては使えませんでした。最終話なんかの最後の方の見開きページは古屋兎丸を彷彿とさせるアシッド感で、合法ドラッグやってラリッた状態で読むと、ホントにはまります。あんなに天然アシッドな漫画はそうそう有るもんじゃございません。

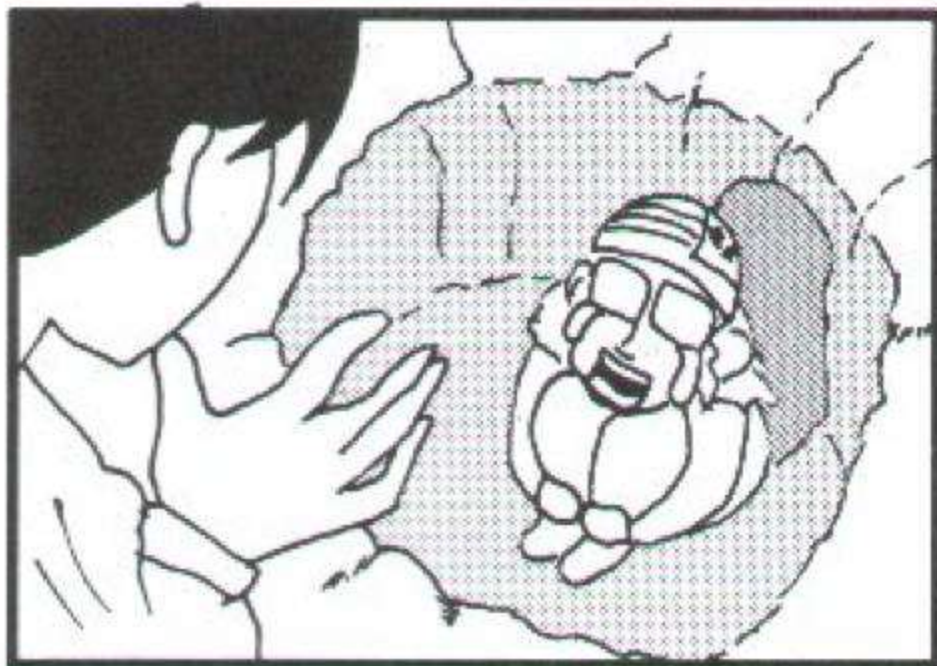
薬の話は別に同人誌でやることもないので、Webの方でちょこちょこ書こうと思ってます（宣伝）ていうか、サーバーを移転して独自ドメイン取ったはいいいんですが、結構出費がでかいです。そういう意味も含めて、この本を購入して戴いた方には感謝です。ヒブホ-風と言うとリハ-外です。チェケラッチョ！

●僕はPanic Disorderという精神疾患持ちで、ちょっと前には電車に乗るのも苦痛な毎日だったのですが、抗うつ剤抗不安剤等々で、最近大勢の人のいるところでも、段々自信がついてきました。ワイキキを歩くのが似合うんです。これは話のフリなんです。PD発症後はまだ映画館に行っていないんですよ。怖くて。で、なんかピンポンの映画やってるじゃないですか。しかも渋谷のシネマライズで。あそこって結構マイナーな映画ばかりで割と好きなんです。今回のピンポン、凄い人ばかりが出来てまして。もうね、アホかと。お前らはピンポンの原作を読んだことがあるのかと問いたい。問いつめたい。小一時間ばかり問いつめたい。お前らな、窪塚が見たいだけちゃうんかと。という感じで懊悩する毎日でございます。

●ときに、日テレで「私立探偵 濱マイク」が始まりましたが、皆様視聴しておられますでしょうか。最初の劇場版が1993年にやって、横浜生まれ横浜育ち（本籍は高知）で横浜大好きっ娘の僕としましては、そりゃリアル工房時代に見に行ったものです。横浜日劇って、リバイバル映画3本立てとかで、金のない頃には暇つぶしに最適です。映画館自体がかなり古くて、椅子とか座り心地悪いけどね。それがまたいいのです。TV版の「濱マイク」は日劇の屋上に探偵事務所を構えています。映画版では2階に住んでるんですよ。映画は全部で3本あったのですが、その期間に日劇に行くと2階の映写室のあたりに「濱マイク 探偵事務所」とか書いてあって「おお〜」って感じ。

つづく

オー・マイ・ゴッド・フー



濱まちすのぐだぐだトーク₃

~そして伝説へ~

●で、僕の弟が、濱マイク探偵事務所に行ってみようと2階にあがろうとしたら、劇場の人に「何もありませんよ」といわれたそうです。しょぼ〜ん。まあそんな思い出話とか、「俺はなあ、映画の頃から見てるんだよ。テレビシリーズから入ったくせに（これは、全然思ってません。大した映画じゃないし（笑い）」と言いたい訳でもありません。なんか、「こんなマイナーな映画の主人公の名前なら、ちょこっといじってPNに使っても元ネタばれないでしょ、ヒヒヒ」と思ってたのがおもむろにTV放送ってことでびっくりしている次第です。

●この間横浜にアクセサリー買いに行ったんです。僕はラバーソールの靴が大好きなのでいつも履いてるうえに、アクセサリーつけるついでに「濱マイク」のまねして黒いマニキュアだ〜!!という状態で外出するのですが（会社にも。とんだやさぐれ社員です。上司の〇藤さんごめんなさい）、そのアクセサリー売り場にいたおねいちゃん衆が僕が通り過ぎた後「永瀬がやるから…」とか、「意識してる…」とか、微妙に聞こえて来るんですよ。それは俺のことかー!!俺は「濱まちす」だぞ、文句有るか!?!とは言えず、微妙なツラで売り場を後にしたへたれな僕でした。

おあとがよろしいようで。

著者近影



濱まちす
2002.7.30
(苦笑)



www.internetnetdenchi.com

Due to my strong personal convictions,
I wish to stress that this comic in no way
endorses a belief in the occult.

I am Japanese

これはオカルト信仰を
推奨するものでは——
決してありません

我係日本人

逆転電池
2002年 8月11日 午前10時
初版 発行

著者
我係日本人
師走の翁&濱まちす

発行者
師走の翁

発行所
我係日本人

<http://www.internetdenchi.com/>

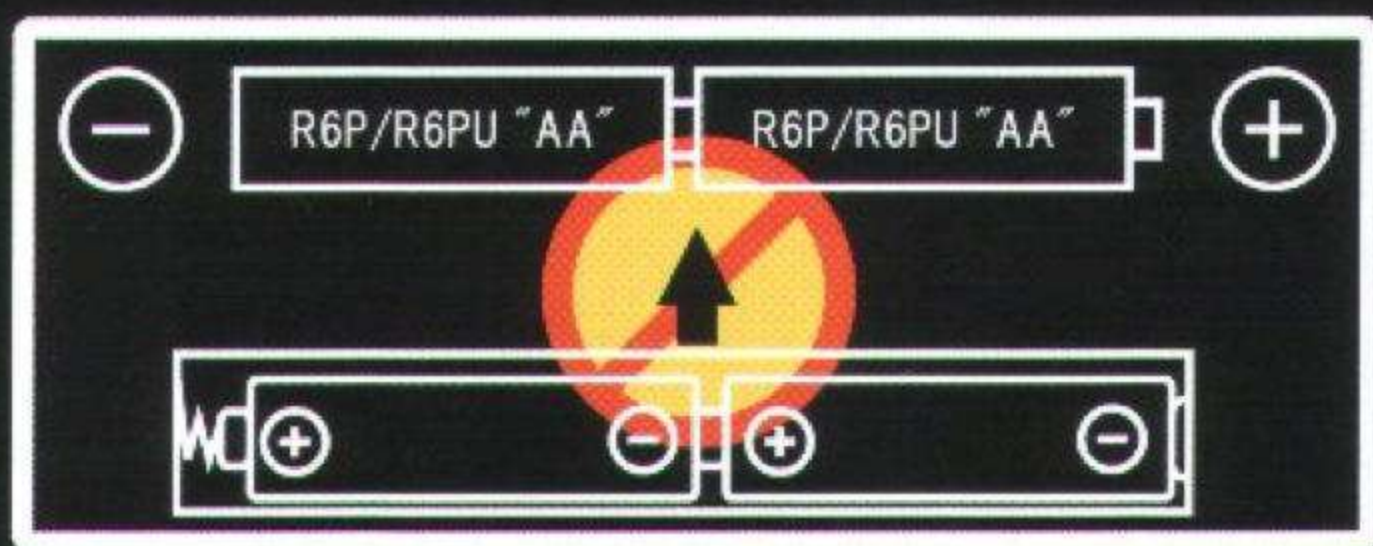
表紙イラストレーション
師走の翁

裏表紙デザイン
濱まちす

18歳未満の購読禁止
無断転載禁止
神禁止



○電池の+-は正しく入れてください



延命電池

www.internetnetdenchi.com

我係日本人

電池
電源